

# EUの教育文化政策の概要

2024年9月  
欧州連合日本政府代表部

|                              |   |
|------------------------------|---|
| 1. 教育文化政策におけるEUの権限 . . . . . | 2 |
| 2. EUの教育文化政策の沿革 . . . . .    | 3 |
| 3. EUの教育文化に関する取組 . . . . .   | 4 |
| ① エラスムス・プラス . . . . .        | 5 |
| ② 文化・青少年 . . . . .           | 5 |
| 4. EUの教育政策イニシアチブ . . . . .   | 6 |
| 参考 . . . . .                 | 7 |

# 1. 教育文化政策におけるEUの権限

## ○ EUと加盟国の権限は、EU条約において規定

- (\*) 関税や域内競争政策等はEUだけが権限を持ち【排他的権限】、域内市場、環境や運輸政策等はEUと加盟国がともに権限を持ち【共有権限】、また、人の健康、観光等は加盟国が主たる権限を持ちつつEUは支援・調整・補完的取組を実施する【支援・調整・補完的行動実施】。

## ○ 教育文化政策では、EUは各加盟国を支援・調整・補完

- (\*) 教育諸制度（教育課程編成、学校設置、教員資格、学位授与等）は、EUではなく加盟国の権限。

## EU機能条約（TFEU）における教育・文化・スポーツ政策におけるEUの役割

### ◇教育政策（TFEU165条2項）

- ・言語の教授・普及を通じた教育における欧州の側面を発展
- ・とりわけ、学修証書・期間の学術的認定の奨励による学生・教員の移動を促進
- ・教育機関間の協力推進
- ・加盟国間の教育制度に対する共通課題に関する情報・経験の交換の促進
- ・青少年交流・社会教育指導者の交流の発展の奨励と、欧州における民主的生活への青少年の参画奨励
- ・遠隔教育の発展の奨励

### ◇文化政策（TFEU167条2項）

- ・欧州市民の文化・歴史についての知識の改善・普及
- ・欧州にとって意義の高い文化遺産の保全・保護
- ・非営利の文化的交流
- ・視聴覚部門を含む芸術・文学の創造

### ◇スポーツ政策（TFEU165条2項）

- ・スポーツ競技における公正性・開放性とスポーツ担当団体間の協力の促進、スポーツを行う男女特に最若年の男女の身体的・道徳的品位の保護によるスポーツにおける欧州の側面の発展

- ・教育・スポーツ、文化面での第3国・国際機関特に欧州評議会との協力を構築（TFEU165条3項、167条3項）

## 2. EUの教育文化政策の沿革

○EUの前身の一つであるEEC（欧州経済共同体）の設立条約（1957年ローマ条約）に教育に係る規定はなく（\*）、教育政策は加盟国政府の専権事項。

（\*）経済的・共同市場的観点での職業訓練に関する規定あり。

○1970年代以降（職業訓練政策の延長線上で）EECとしての学生・教員交流施策が試行され、1987年に「エラスムス」等の教育政策プログラムが発足。

○1992年、教育・文化・スポーツに係る規定がEU条約（マーストリヒト条約）に追加。

1976  
～86年 ジョイント・スタディ・プログラム（Joint Study Programme）  
高等教育における学生・教育交流プログラムの試行。

1987  
～94年 エラスムス・プログラム（ERASMUS Programme） 高等教育交流プログラム  
EuROpean Community Action Scheme for the MObility of Uiversity Students

1995  
～2006年 ソクラテス・プログラム I/II  
エラスムス・プログラム（高等教育）を含む学校教育、言語教育プログラム等を包括。  
[レオナルド・ダ・ヴィンチ・プログラム（職業訓練プログラム）]

2007  
～13年 生涯学習プログラム（Lifelong Learning Programme） 69.7億€  
エラスムス、レオナルド・ダ・ヴィンチ、コメニウス等の4プログラムを包括。

2014  
～20年 エラスムス・プラス（Erasmus+）・プログラム  
当初の「エラスムス」が高等教育交流に特化していたのに対し、現在、共同学位、青少年・スポーツ交流等、様々な活動を含む。  
（プラス「+」の意味）  
2014-20:147億€、2021-27:262億€

# 3. EUの教育文化に関する取組① エラスムス・プラス

## (1) 現状

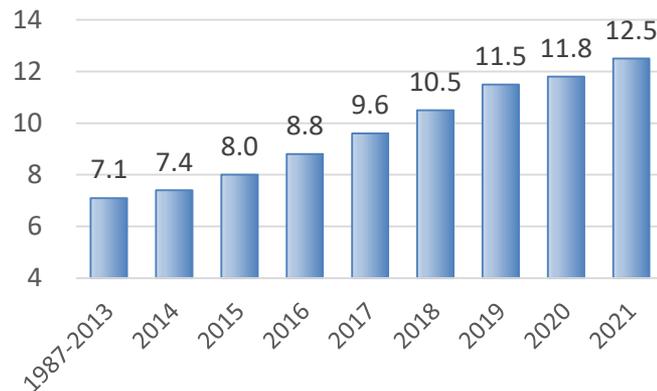
- 現在、2021-27年の財政枠組み期間でEU教育・青少年・スポーツ支援プログラム「エラスムス・プラス」を実施中。予算規模262億ユーロ（7か年予算）。
- 高等教育の学生がEU域内の他国において学習する際の奨学金支給等を主な内容とするほか、スタッフ・青少年・スポーツ、共同学位推進等の多様な交流事業を実施。
- 1987年～35年間で約1300万人の交流を支援。EUで最も成功した取組の一つと認識。

【エラスムス+のプログラム構造】

| 領域 | 教育・訓練   |         |      |      | スポーツ | 青少年 |
|----|---|---------|------|------|------|-----|
|    | 高等教育  | 職業教育・訓練 | 学校教育 | 成人教育 |      |     |
| 事業 | ・キーアクション1：学習移動<br>・キーアクション2：組織・機関間協力<br>(欧州の大学イニシアチブ、エラスムス・ムンドゥスを含む。)<br>・キーアクション3：政策策定・協力支援<br>・ジャン・モネ (EU研究の支援) |         |      |      |      |     |

【支援人員累計数】

単位：百万人



## (2) 日本との関係

- 2018年7月の第1回日EU教育文化スポーツ政策対話での合意を踏まえ、2019年から日欧の大学による共同修士課程を日EUで共同支援。2024年9月に10校を支援対象として発表。

(\*) 日本：大学の世界展開力強化事業、EU：エラスムス・ムンドゥス事業

# 3. EUの教育文化に関する取組② 文化・青少年

## (1) クリエイティブ・ヨーロッパ (Creative Europe Programme)

- EUの文化・視聴覚（メディア）分野を支援する支援プログラム（2021-27年）として「クリエイティブ・ヨーロッパ」を実施中。予算規模24.4億ユーロ（7か年予算）。
- プログラムは、①文化（建築、文化財、デザイン、文学・出版、音楽、舞台）、②メディア（映画・テレビ・ゲーム等視聴覚産業）、③分野横断の3つで構成。
- 欧州における文化的多様性の強化、文化・視聴覚分野の復興、より包摂でよりデジタルでより環境面で持続可能な取組を強化。



(写真：欧州委員会HP)

## (2) 欧州連帯団 (European Solidarity Corps)

- EUの青少年向けに海外・地域ボランティア・研修等の支援プログラムとして「欧州連帯団」を実施中。予算規模10.1億ユーロ（7か年予算）。対象人数27万人。
- 18～30歳の青少年に対し、海外や国内でのボランティア、研修・職業活動、地域連帯活動、人道的支援（※18～35歳）の機会を提供。
- 1996年に欧州ボランティアサービス (European Volunteer Service : EVS) として開始。2014年、「エラスムス・プラス」の一部へ。2016年、ユンカー欧州委員会委員長の提言で「欧州連帯団」規則が制定され、別プログラム化。



(写真：欧州委員会HP)

●なお、EUの教育、文化、青少年関連施策ではウクライナ向けの支援枠を設置。

# 4. EUの教育政策イニシアチブ

「エラスムス・プラス」等、EU全体にわたるプログラムの運営・実施のほか、加盟国の取組方針を含む教育政策イニシアチブを提示。

## (1) 欧州教育圏 (European Education Area : EEA)

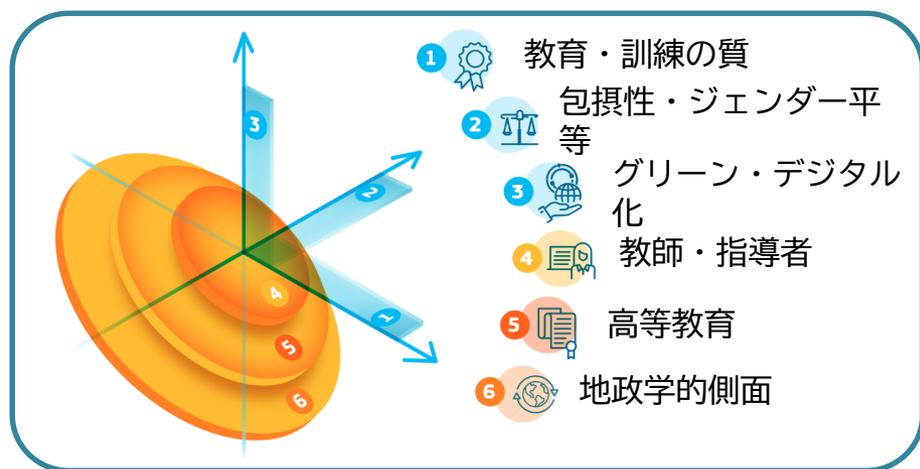
○EUと加盟国が協力し、より強じんて包摂的な国家教育・訓練システムを2025年までに構築するための政策イニシアチブ (2020年9月欧州委員会コミュニケーション)。

○6つの次元で構成 (右図)。

○EUレベルでの目標指標を設定し、進捗をモニタリング。

(合意された指標例)

- ・2030年までに読解力、数学・科学の低達成率の15才生徒数率を15%未満に
- ・2030年までに3才から学齢期の間の子供の少なくとも96%が幼児教育・保育に参加
- ・2030年までに早期退学率を9%未満に
- ・2030年までに25-34才の高等教育修学率を少なくとも45%に 等



出典：欧州委員会HPを加工

## (2) デジタル教育行動計画 (Digital Education Action Plan)

○デジタル時代に向けた教育・訓練システム確立のための政策イニシアチブ (2021~27年)。

### ◇高性能デジタル教育エコシステム作り

6行動：加盟国との対話、初中教育でのオンライン・遠隔学習、ネット環境、AIの教育ガイドライン 等

### ◇デジタル時代のためのデジタルスキル・能力向上

7行動：教員ガイドライン、デジタルスキル証明、女性のSTEM教育 等

### ◇EUレベルのデジタル教育の協力・交流強化

1行動：欧州デジタル教育ハブの構築

### ◇アウトリーチ・国際交流

# 参考（関係リンク）

○エラスムス・プラス：プログラムサイト

<https://erasmus-plus.ec.europa.eu/>

○クリエイティブ・ヨーロッパ：プログラムサイト

<https://culture.ec.europa.eu/creative-europe>

○欧州連帯団：プログラムサイト

[https://youth.europa.eu/solidarity\\_en](https://youth.europa.eu/solidarity_en)

○欧州教育圏

<https://education.ec.europa.eu/>

概要)

[https://education.ec.europa.eu/sites/default/files/document-library-docs/eea-factsheet-sept2020\\_en.pdf](https://education.ec.europa.eu/sites/default/files/document-library-docs/eea-factsheet-sept2020_en.pdf)

○デジタル教育行動計画

<https://education.ec.europa.eu/focus-topics/digital-education/action-plan>

概要)

[https://education.ec.europa.eu/sites/default/files/document-library-docs/deap-factsheet-sept2020\\_en.pdf](https://education.ec.europa.eu/sites/default/files/document-library-docs/deap-factsheet-sept2020_en.pdf)

(※上記いずれも2024年9月時点アクセス。英語サイト。)